

生きがいを見つけ脳を元気に

認知症予防講演会

町認知症予防講演会が、11月18日開催されました。講演会では、「脳いきいき教室」の活動発表や臨床心理士でエイジングライフ研究所副所長の高槻絹子さんの講演が行われました。「防げる！ 治せる！ 認知症」と題した講演では、認知症の症状について、脳の機能を三頭立ての馬車とそれを操る御者に例え解説。認知症になるかならないかは、一人一人の脳の使いかた次第。生き生きと自分らしく生きることが認知症の予防につながると話していました。



12区脳いきいきさわやかクラブによる発表

交通死亡事故ゼロ1年継続

賞賛状伝達式

11月18日、交通死亡事故ゼロ1年継続の賞賛状が、県警本部長より伝達され、一関警察署長より青木町長に手渡されました。賞賛状伝達式には、町交通安全団体の代表者ら9人が出席。青木町長は「1年間の死亡事故ゼロ達成ができたのは、関係団体の指導と啓発活動が実ったもの。平泉ナンバーが導入され注目されるので、さらに交通安全意識の啓発と交通安全マナーアップに努めていきたい」と取り組みの継続を誓いました。



一関警察署長より賞賛状が手渡されました



「食の匠」に認定された小野寺さん(中央)

いわての食文化を伝える

小野寺さんが「食の匠」に認定

平成26年度岩手県「食の匠」に小野寺郁子さん(14区)が認定され、11月13日に青木町長を訪れ認定を報告しました。小野寺さんは長島地区で昔から作られてきた「からし」を使った郷土料理「きゅうりのからし漬け」を継承されています。小野寺さんは「和がらしがもたらした縁を大事に、60年以上続いてきた和がらしを継承していきたい」と話していました。町内では4人目の「食の匠」の認定となります。



熱心に聞く参加者

放射線の現状を学ぶ

放射線セミナー

11月16日、役場会議室で「私たちの暮らしと放射線セミナー」が開催されました。講師として元(独)岩手県工業技術センター副理事長の齊藤博之さんを招き、「放射線にかかる本県の状況」としてお話をいただきました。参加者は自然界に由来する放射性物質や土壌中の放射性セシウムのこと、食品加工や健康への影響などについて理解を深めました。質疑では、土壌から農作物への移行についての質問が出され、講師よりわかりやすい回答をいただきました。

世代を超えてハーモニーを奏でる

長島小親子ふれあいコンサート

長島小学校のPTA親子ふれあいコンサートが11月8日、同校体育館で開催されました。コンサートは1～3年生児童による合唱で開演。長島保育所園児の元気いっぱいの鼓隊演奏に続き、長島小合奏団が、日ごろの練習の成果と感謝の気持ちを込めた素晴らしい演奏を披露しました。コンサートの最後は、長島小合奏団、長島オールスターズ、ゲストの皆さんによる合同演奏。今年は平泉中吹奏楽部も参加し厚みを増したサウンドを会場いっぱいに響かせました。



参加者全員で迫力ある演奏を披露しました

中尊寺諸堂の修繕・建築に従事

山田さんに卓越技能者表彰

県卓越技能者表彰式が11月10日、盛岡市内のホテルで開かれ宮大工の山田雪さん(一関市舞川)が表彰を受けました。国宝中尊寺金色堂保存修理工事では、金色堂の解体修理という大事業に携わった山田さん。現在は棟梁として、重要文化財を含む中尊寺諸堂・境内建物の修理修繕・建築の中心的な役割を担っています。「中尊寺山内の18坊すべてのお堂に手を掛けることができたのは誇りです」と受賞の喜びを報告しました。



受賞の喜びを報告する山田さん



署名簿を提出する千葉会長(中央)ら

地域ぐるみで運動を展開

交通安全母の会が署名簿提出

町交通安全母の会連合会(千葉千代子会長)が10月27日、町民3,601人が署名した「高齢者を事故から守るための署名運動」と「飲酒運転根絶署名運動」の署名簿を町に提出しました。署名では、高齢者を交通事故から守るため、道路を横断する時は左右を確認する、運転するときは思いやり運転に努めるなど7つの項目と、飲酒運転根絶のため酒を飲んだら車を運転しない、車を運転するなら酒を飲まないなど5つの実践項目を誓いました。



元気にポーズする藤山さん

100歳おめでとう

藤山としみさんが満100歳を迎える

11月4日、藤山としみさん(7区)が満100歳の誕生日を迎えられ、青木町長が記念品と花束を贈り、長寿を祝いました。町長から「100歳おめでとうございます。これからも長生きしてください」と声を掛けられると、両手を広げてポーズを決めてくれた元気な藤山さん。ご家族によれば「今まで大きな病気を一切したことがない。日ごろから自分なりに工夫して健康に気を遣っていた」とのこと。たくさんの祝福の声に笑顔を浮かべていました。